農業施策

農業地域計画の策定は

関係機関・地域と協力し取組む

矢野（やの） 昭三（しょうぞう） 議員

問 農業離れが続く中、どのように取り組み、活路を見出していくか。

肥料、農薬、資材等高騰したが、作物の販売価格は下がっている。可処分所得の向上を盛り込んで計画策定するか問う。

答 松本 町長

昨年7地域で座談会を開催した。4月から耕作者、地権者へアンケートを実施し、取りまとめをしている。11月に地域座談会を開催、令和7年3月に地域計画策定を予定。

離農する農家に比べ新規就農者が少ないため、農業公社等と連携し新規就農を推進する。物価高騰に対しても支援をしている。

先ず、収穫量の向上を図り農家所得の向上に繋げていく。

拳ノ川小学校の校庭危険箇所
崖、高木・下に遊具（令和6年6月）

学校敷地管理

教育の場にふさわしい管理を必要に応じて対応する

問 学校敷地等について、教育の場にふさわしい管理をしているか。

評価基準を作って取り組むか問う。

答 宮川 教育長

よりよい環境整備を整えるとともに乳幼児、生徒の生命財産を守る観点からも大変重要であると認識している。各保育所や学校と意思疎通を図りながら子供たちにより良い教育環境が整備されるよう努める。必要に応じて教育委員会による目視等の確認や見守りを行う。

防災対策

佐賀支所の機能確保は光ケーブル等を活用する

問 佐賀支所の機能は南海トラフ地震津波により不能になる。保健センターで代替え機能確保を図る方針だが、事務機器等どのように設置するか。

答 松本 町長

光ケーブルが繋がっている時は住民票、印鑑証明等は発行可能。

戸籍は、専用端末等が必要なため現状では発行できないが衛星電話機器を備えているので、これを活用し発行する。

辺地対策

令和6年度の事業計画は9月議会へ提案する

問 令和6年度事業はどのような計画か。

積極的に県へ出向き、計画の実現に向けて取り組んでいるか。

答 松本 町長

町道馬荷線、大井川馬荷線については改良工事を実施中。

令和6年度の事業計画は、町道成又熊野浦線、熊野浦海岸線道路改良、ヒジロケ谷橋改良、ウタノハエ橋改良などの測量設計となっている。

これらの事業については、5年間の総合整備計画を策定し、9月議会に提出の予定。

必要に応じて県へ積極的に要望する。

成又熊野浦線の改良工事（令和6年6月）

熊野浦海岸線改良（避難道路）（令和6年6月）

【その他の質問】
・伊与木川改修について